

中学校長 藤沢市部活動アンケート回答結果

1. 勤務校を選択してください

回答者数 19名(19中学校中19中学校)

2. 現在、貴校の部活動に関する悩み事は何ですか。最もあてはまるもの5つを選択してください。

顧問の負担が大きすぎる	19
顧問が希望以外の部活動をもたなければならない	16
専門的技術指導のできる顧問が不足している	14
顧問のなり手が減ってきた	11
部活動指導員や外部指導者が不足している	9
保護者の理解が不足している	5
施設設備、用具等の不備、または不足している	4
顧問の指導が行き過ぎている	2
生徒の入部率が低下している	2
保護者の期待が大きすぎる	2
費用がかかりすぎる	2
顧問の指導意識が低下している	1
部活動という仕組みそのものに疑問を感じている	1
生徒数が減少し、職員数が減少しているため、部活動の数を減らさざるを得ない状況にあり、どの部活を削減するか、悩ましい。部活動指導員のみで、活動ができるようになれば、減らさずに済む。	1
熱中症等 事故・ケガの対応	1

3. これまでの部活動の在り方について、あなたの考えに最も近いものを選択してください。

生涯スポーツや文化活動の活動習慣形成に向けて楽しく活動する	7
大会やコンクール等でより高い記録・成績を残すことを目指す	5
生徒のニーズに合わせた多様な種目や活動形態で行う	3
その他	4

<その他・主な記述>

- ・大会やコンクール等でより高い記録・成績を残すことを目指しつつ、人格形成や社会性、基本的な生活習慣などを身につけさせる
- ・礼儀を学び何かに打ち込むことで人間的な成長を促す
- ・人格形成

4. 今後の部活動の在り方について、あなたの考えに最も近いものを選択してください。

地域でも担える部活動から、将来的に地域に移行され運営される	12
生涯スポーツや文化活動の活動習慣形成に向けて楽しく活動する	2
生徒のニーズに合わせた多様な種目や活動形態で行う	1
大会やコンクール等でより高い記録・成績を残すことを目指す	0
その他	4

<その他・主な記述>

- ・学校として教員が教えるものは小学校の「クラブ」と同じように考え、様々な活動に興味を持たせるものにし、週2回各1時間程度の実施。「7時間目」的な考え方で教員全員、生徒全員が行う。
- ・礼儀を学び、何かに打ち込むことで人間的な成長を促す
- ・民間に委託

5. 国は学校部活動を地域に移行すると示しています。その第一段階として平日は学校部活動（指導者は教員）、休日は地域クラブ活動（指導者は地域指導者）と示されていますが、このことについてどう考えますか。

よいと思う	5
よくないと思う	7
どちらともいえない	7

6. 5を回答した理由やお考え等がありましたらお書きください。

<よいと思う(主な意見)>

藤沢市として取り組む方向性を定め、前に進めてほしい。

活動日数や活動時間の見直しがあれば。

<よくないと思う(主な意見)>

同じ部活動でありながら平日と休日で指導者が違うことで生徒は混乱する。顧問にもかえって負担となる。

折衷案のようなやり方は中途半端でうまくいかないと思う。学校は最初から平日の部活動も撤退し地域クラブ等に任すべきだ。

中途半端な位置づけが地域移行の進展を妨げている。

移行させるのであれば第一段階、第二段階とするのではなく一気に移行するべきではないか。

<どちらともいえない(主な意見)>

指導者を確保できるのか。できない地域や活動では、結局教員が指導することになるのではと危惧している。

完全移行に向けてやむを得ないことと思いますが、平日、休日で指導者が替わることは部員が戸惑い、顧問と地域指導者との連携が難しい。

生徒理解としては教員がよいが、専門コーチの指導も受けさせたい。

7. 学校部活動において、部活動指導員や外部指導者の活用は必要なことだと思いますか。

必要である	16
必要ではない	1
どちらともいえない	2

8. 7を回答した理由やお考え等がありましたらお書きください。

<必要である(主な意見)>

一部の教員への負担を軽減することとなり、地域移行にも繋がるため。

生徒は専門的技術指導を望んでいるから

顧問だけでは、様々な活動を全てフォローしきれないので。

部活動指導員を各部に配置し、教員は希望者のみ兼務とする。

1. 専門的な指導ができる教員は限られている。

2. 教員不足がうたわれている今日、顧問の数自体が足りない。

教員が必ずしも専門的指導ができるわけではないので。

<必要ではない(主な意見)>

部活動指導員や外部指導者は、部活動における教員の負担軽減のために導入されているもので、部活動が継続していくことが前提となっている。現在、必要としているところに配置できればいいのであって、それ以上、予算を取って事業を拡大していくべきではない。

<どちらともいえない(主な意見)>

現在の部活動の形であれば、部活動指導員や外部指導を学校にいれることは顧問負担軽減のため必要だと思うが、学校から部活動を切り離してほしい。

地域で指導に当たれる人材・団体確保を優先する必要もありかと思う。

9. 部活動指導員や外部指導者を活用する際に、専門的な指導ができることに加え、どのような人材を採用しますか。最もあてはまる2つを選択してください。

学校の顧問と協力して指導できる	15
人格的に優れている	13
健康・安全面に配慮した指導ができる	6
熱心に教える姿勢がある	1
心理的な面での指導ができる	1
指導者資格を有している	0
その他	2

<その他・主な記述>

- ・現在の部活動の形であれば、顧問と協力することは必至である。
- ・人権の尊重ができる（不適切な指導をしない）

10. 部活動指導員や外部指導者をどのような方法で探していますか。あてはまるもの全てを選択してください。

市教委を通じて	14
自校職員の紹介（卒業生以外）	14
卒業生から探す	4
指導者人材バンク（県など）	0
地域に公募をかける	0
その他	2

<その他・主な記述>

- ・校長の人脈
- ・知人からの紹介

11. 今後、学校部活動は学校運営上必要だと思いますか。

必要だと思う	4
必要ではない	6
どちらともいえない	9

12. 11で回答した理由やお考え等がありましたらご記入ください。

<必要だと思う(主な意見)>

生涯スポーツや文化活動の活動習慣形成をするためには、必要不可欠であると考える。

部活動で育つ力も大きいと感じています。

今はまだ必要だと思います。文科省が部活動を期間を決めて廃止にするなどを伝えるならば線が引けると思います。

<必要ではない(主な意見)>

学校運営上は必要ではない。むしろ、教員側のことだけ言えば、弊害の方が大きい。

①部活動に力を入れ過ぎて教科指導や生徒支援が疎かになることを防ぐため

②労働基準法を遵守するため

部活動に対して、学校や顧問(教員)が負わなければならないリスクや負担が大き過ぎる。

意義はあるが、今の制度を続けることは、教員にとって大きな負担となっている。

<どちらともいえない(主な意見)>

生徒との関われる機会と教職員の負担とのバランスが難しい

給与、待遇等で対価について新たに条件整備がなされることが第一。

学校運営として中学生の成長過程において部活動はあったほうがよいのかもしれないが、教職員やその家族の負担(肉体的・精神的・金銭的)を考えた場合、学校経営としては必要悪のように感じられる。

国が部活動をなくす方向でいる以上、今後はなくなる方向を視野に入れた学校運営も考える必要があると思うので。

部活動指導にやりがいを感じている教員も多いが、その他の教員にとっては大きな負担となっている。

13. 今後、生徒数が減少し、校内の部活動の設置数や部員数が減少していくことが考えられます。その場合、部活動はどのような実施形態が望ましいと考えますか。

学校教育の一環としてではなく、地域に移行したクラブ活動として行う	13
複数の学校による合同部活動として実施する	4
設置する部活動を精選して自校のみで実施する	1
その他	1

<その他・主な記述>

・精選する難しさ。合同部活動とした時も、顧問は必要。地域に移行できれば良いが、指導者等にしっかりと基盤を作らなければ、存続していくのは難しいと思う。

1 4. その他お気づきの点やお考え等ありましたらご記入ください。

(主な意見)

部活動を学校から切り離さない限り、中学校教員の時間外労働が減ることはない。
とにかくゴールを決めて、そこに向けて何をやっていくべきかという議論にしてもらいたい。
部活動を継続するのであれば、教員の待遇面の改善は必須。
まずは、地域移行がスピーディに進むよう、お願いしたい。それが難しいのであれば、他市町のように、全体で朝練なし、平日の活動無しを2日、5時以降の部活はなし、などのような、少しでも前に進むような取組を藤沢市でもすべきではないか。
現行の部活動は制度的に無理がある。対価に見合わないほぼ無償労働（危険度も含めて）を、校長の「お願い」で実施していること自体に疑問を感じている。
地域一体型の運営に賛成。部活動をなくすとして、生徒の活動する場所とその指導者は必要です。楽器を、絵を、演劇を、運動を、それぞれ経済格差なくやりたいものができる藤沢であることを願っている。
部活は5時まで、とか自治体単位での思い切った改革が必要だと思う。